

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年10月21日

仙台・六郷児童館 「エコバッグ作り」

今回は、無地のバッグにクレヨンで絵を描いたり、布やボタンなどを使って、オリジナルのエコバッグを仕上げようというプログラムです。

よちよち歩きの小さな子どもたちと、そのお母さんやおばあちゃんたちが、一緒にこのワークショップに取り組みました。グリグリと前衛的な絵を我が子が仕上げたすぐ横に、毛糸やフェルト地を使って、羊と一緒にいる景色を作り上げたお母さん。おばあちゃんは、孫が大好きなウルトラマンを、本を参考にして、テキパキと格好良くつくってゆきます。そのウルトラマンの下には、孫がボタンを通したモールもくっついて。ボタンを動かして、数のお勉強もできる仕掛けです。

たくさんの布地をパッチワークし、お洒落な雑貨さんで売っているようなバッグを仕上げのお母さん。猫をモチーフにバッグをつくっていたお母さんは、片面3匹。もう一面は、毛足の長い布を使って、猫1匹のデザイン。センスが光る逸品となりました。

真珠のようなビーズをつなげて、持ち手に飾った女の子は、作品を肩にかけ、満面の笑みを浮かべ、カメラにポーズ！泣き声もたくさん聞こえた今回のワークショップでしたが、小さい子どもは泣くのもお仕事。お母さんと一緒に、ボタンを縫い付けたり、フェルトの裏のシールをはがしたり、ホットボンドを使ってポンポンをくっつけたり。

ものをつくる楽しさを、一緒に集中してできた、そんな1時間だったような気がします。

